

発議第 1 号

令和 7 年 3 月 4 日提出

淡路市議会議長  
 靱谷 宏 様

提出者 淡路市議会議会議員  岨下 博史  
  石岡 義恒

北朝鮮によって拉致されているすべての日本人の速やかな救出を求める意見書

上記議案を別紙のとおり、淡路市議会会議規則（平成 1 7 年淡路市議会規則第 1 号）第 1 4 条第 1 項の規定により提出する。

（提案理由）

北朝鮮によって拉致された日本人の多くは未だ帰国できない状況にあるが、拉致被害者の帰国を待ち望むご家族の高齢化が進み、遂には再開が叶わずに亡くなる事例も出ている。この悲惨で取り返しのつかない現実を直視し、我が国としては一刻も早く北朝鮮からすべての日本人拉致被害者を救出しなければならない。

よって、国の速やかな施策改善を行うことを求めるため、この意見書を提出する。

意見書第 号

北朝鮮によって拉致されているすべての日本人の速やかな救出を  
求める意見書

北朝鮮による拉致被害者は、政府認定の17名のほか、拉致の疑いが排除できない特定失踪者と言われる方々が相当数存在しているが、平成14年10月に5名の方々の帰国が実現し、平成16年5月と7月にそのご家族が帰国して以来、何も進展が見られていない。

北朝鮮による日本人拉致問題は、我が国に対する重大な主権侵害であるとともに、断じて許すことのできない人権侵害である。北朝鮮によって拉致された日本人の多くは未だ帰国できない状況にあるが、拉致被害者の帰国を待ち望むご家族の高齢化が進み、遂には再開が叶わずに亡くなる事例も出ている。有本恵子さんの母・有本嘉代子さんは令和2年2月3日に、父・有本明弘さんは2月15日に、横田めぐみさんの父・横田滋さんが令和2年6月5日にそれぞれの最愛の家族との再会を果たすことなく逝去された。この悲惨で取り返しのつかない現実を直視し、我が国としては一刻も早く北朝鮮からすべての日本人拉致被害者を救出しなければならない。

また、警察庁によれば、横田めぐみさんは中学校の下校途中に北朝鮮工作員によって連れ去られ、田中実さんは北朝鮮の指示を受けた日本国内の勤務先飲食店の巧妙な誘いによって海外に連れ出され、その後北朝鮮に送り込まれたとされている。拉致事件が日本国内の身近な場所で発生した事実を極めて深刻に捉え、淡路市議会としても国と連携し、拉致問題の早期解決に向けた啓発活動や再発防止に全力で取り組む決意を表明する。

以上を踏まえて、淡路市議会は、国会及び政府に対し、北朝鮮からすべての日本人拉致被害者を救出するとともに、今後二度とこのような悲劇が起こらないよう、国際社会との連携の強化や必要な法的措置をはじめとする再発防止に取り組むよう強く要請する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和 7年 月 日

兵庫県淡路市議会議員 榎谷 宏

衆議院議長 額賀 福志郎 様  
参議院議長 関口 昌一 様  
内閣総理大臣 石破 茂 様  
内閣官房長官  
沖縄基地負担軽減担当  
拉致問題担当 林 芳正 様  
外務大臣 岩屋 毅 様  
法務大臣 鈴木 馨祐 様  
総務大臣 村上 誠一郎 様  
国土交通大臣 中野 洋昌 様  
国家公安委員会委員長 坂井 学 様  
警察庁長官 楠 芳伸 様  
海上保安庁長官 瀬口 良夫 様